

5. 就業者の方への質問

(注. 以下の調査は「就業者」を対象としているため、平成 29 年実施の前回調査では無回答者が多かったため数値を計上していない質問もある)

(1) 家族の中で働いている人は

回答者の家族の中で働いている人は、「自分のみ」が 30.7%で、「自分以外に働いている方がいる」が 66.6%、「無回答」2.7%であった。

前回調査との比較では、「無回答」が前回の 24.6%から今回は 2.7%へ 21.9ポイントと大幅に減少し、その代わりに「自分のみ」が前回より 8.0ポイント、「自分以外に働いている方がいる」も前回と比べて今回は 14.0ポイントそれぞれ高くなっている。

なお、男女別では、女性と比較して男性の方が「自分のみ」の回答率は高い結果であった。

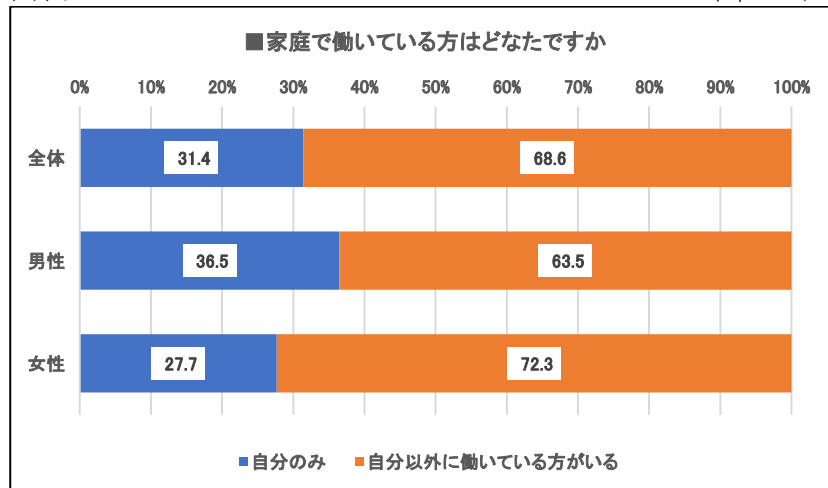
図表 2-5-1

単位：人、%

家族の中で働いている人	今回 (R3 年) 調査		前回 (H29 年) 調査	
	回答数	構成比	回答数	構成比
自分のみ	409	30.7	343	22.7
自分以外に働いている方がいる	889	66.6	795	52.6
無回答	36	2.7	372	24.6
合計	1,334	100	1,510	100.0

図表 2-5-2

単位：%



(2) 自分以外に働いている方は誰か (複数回答)

上記「自分以外に働いている方がいる」と回答した人への限定質問として、自分以外には誰かについては、「妻または夫」が全体の 74.9%で最も多く、以下「子供」が 19.6%、「父または母」15.1%、「その他」(兄弟など) 4.7%の状況であった。

前回調査との比較では、「妻または夫」が前回より 0.9ポイント増加したが、「子供」(4.3ポイント減)、「父または母」(2.3ポイント減)、「その他」(0.3ポイント減)とともに減少となっている。

年代別では、20歳代の回答者は自分以外に「父または母」が多く、30歳代以上は「妻または夫」など配偶者、50歳代、60歳代になると「子供」が増加している。

図表 2-5-3

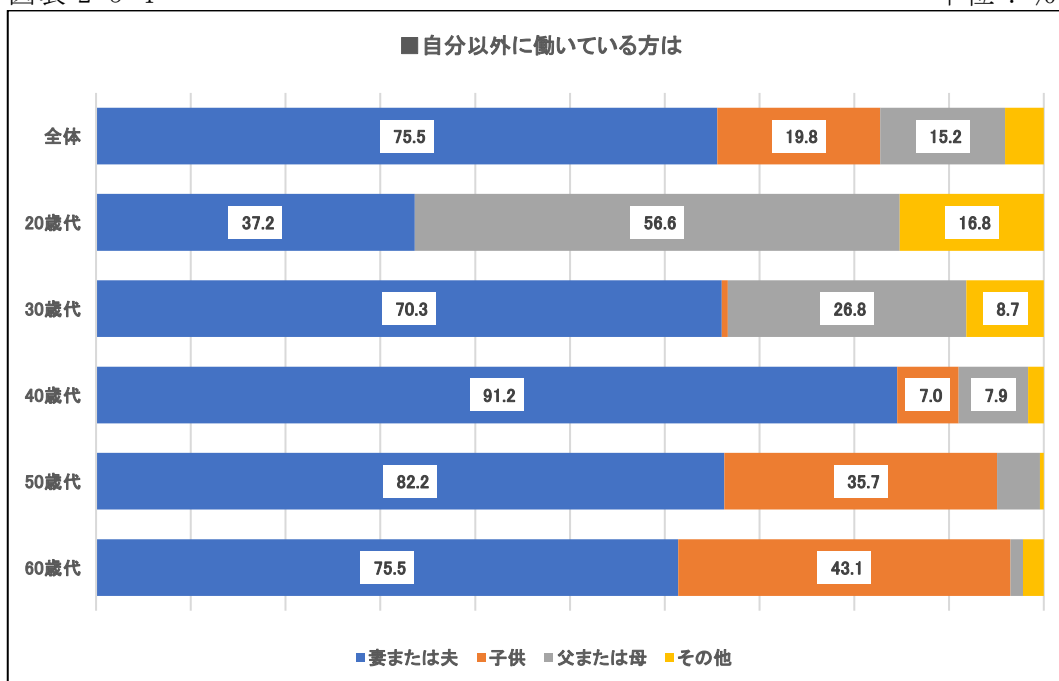
単位：人、%

自分以外に働いている方 (複数回答)	今回 (R3年) 調査		前回 (H29年) 調査	
	回答数	構成比	回答数	構成比
妻または夫	666	74.9	588	74.0
子供	174	19.6	190	23.9
父または母	134	15.1	138	17.4
その他	42	4.7	40	5.0
無回答	6	0.7	-	-
合計	889	100.0	795	100.0

注. 前回調査は無回答者数が多いため無回答については計上していない

図表 2-5-4

単位：%



注. 無回答分は除いている

(3) 仕事がある日の買い物で不便を感じるか

働いている人が就業日の買い物に不便を感じている比率は、「あまりない」が40.8%で最も多く、以下「時々ある」(28.7%)、「ある」(16.8%)、「全くない」(10.8%)の順であった。

なお、前回調査との比較では、無回答を除くと順番としては同様であった。しかし、前回は無回答の比率が24.7%と高く、今回はこの比率が2.9%と大幅に低下したため、無回答を除く他の回答比率は全般的に増加している。

年代別でみると、「ある」・「時々ある」など不便を感じている人は30歳代の57.7%をピークに20歳代53.7%、40歳代49.8%など若い年齢層において半数近くを占めており、一方60歳代は不便について「あまりない」・「全くない」が半数以上となっている。なお、男女別においては女性の方が不便を感じていることが「ある」・「時々ある」の割合は高くなっている。

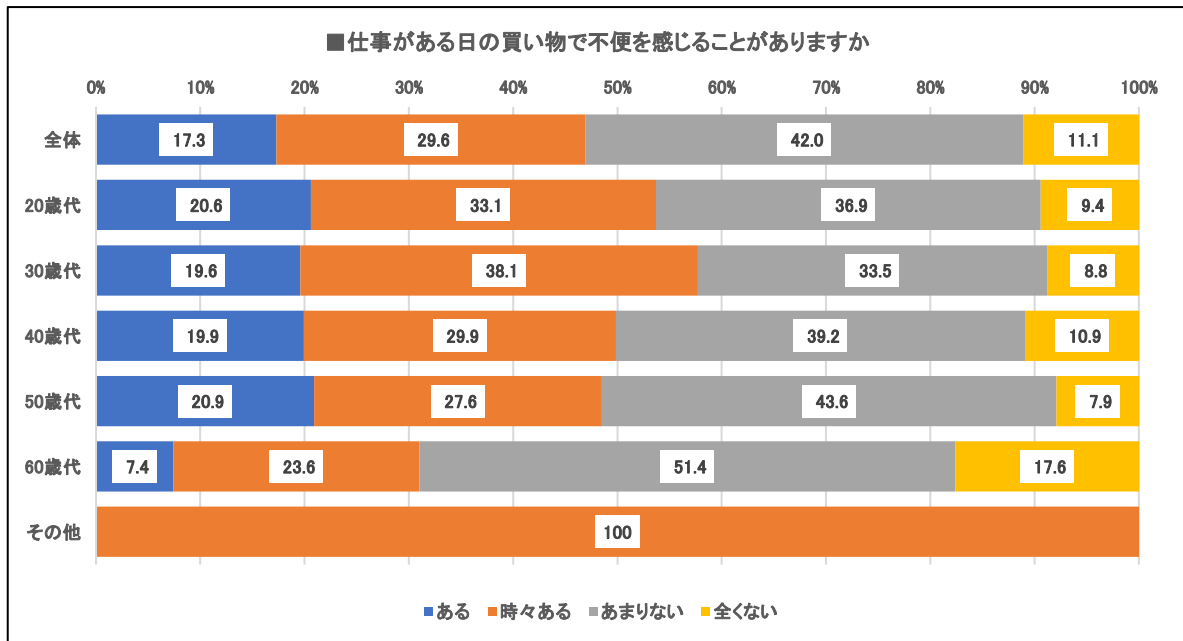
図表 2-5-5

単位：人、%

就業日の買い物の不便さ	今回（R3年）調査		前回（H29年）調査	
	回答数	構成比	回答数	構成比
ある	224	16.8	178	11.8
時々ある	383	28.7	325	21.5
あまりない	544	40.8	507	33.6
全くない	144	10.8	127	8.4
無回答	39	2.9	373	24.7
合計	1,334	100.0	1,510	100.0

図表 2-5-6

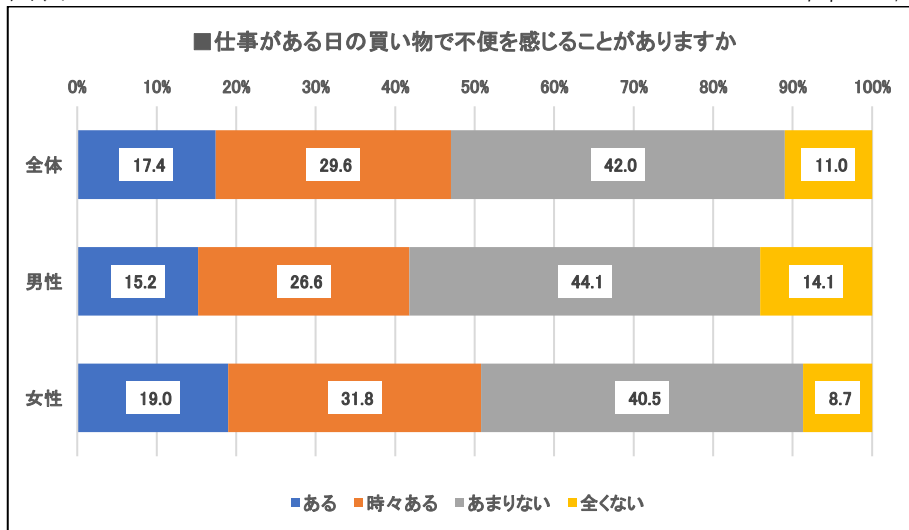
単位：%



注. 「その他」は不明回答である。また無回答分は除いている

図表 2-5-7

単位：%



注. 無回答分は除いている

(4)不便を感じる時が「ある」・「時々ある」回答者の不便を感じる理由

上記質問の買い物に不便を感じる時が「ある」・「時々ある」回答者への限定質問として、不便を感じる理由としては、「時間がないため買い物に行けない」が40.9%で最も多く、「店が（定休日・営業時間外等で）営業していないため買い物に行けない」（35.7%）も1/3以上の回答があった。

そのほかでは「職場や家の近くに店がないため買い物に行けない」（9.7%）、「店に欲しいものが売っていない」（9.1%）の順であった。

なお、前回調査との比較では「店が営業していないため買い物に行けない」（2.5ポイント増）と「時間がないため、買い物に行けない」（1.1ポイント増）が増加し、他の回答項目は全般的に減少している。

男女別では男性は「店が営業していないため買い物に行けない」（42.5%）、女性は「時間がないため買い物に行けない」（45.6%）が最上位の回答であった。

年代別では20歳代は「店が営業していないため買い物に行けない」が55.8%でトップ、30～40歳代は「時間がないため買い物に行けない」が50%前後の回答で最も多く、50～60歳代は「店が営業していないため買い物に行けない」・「時間がないため買い物に行けない」の両項目が上位を占めている。

図表 2-5-8

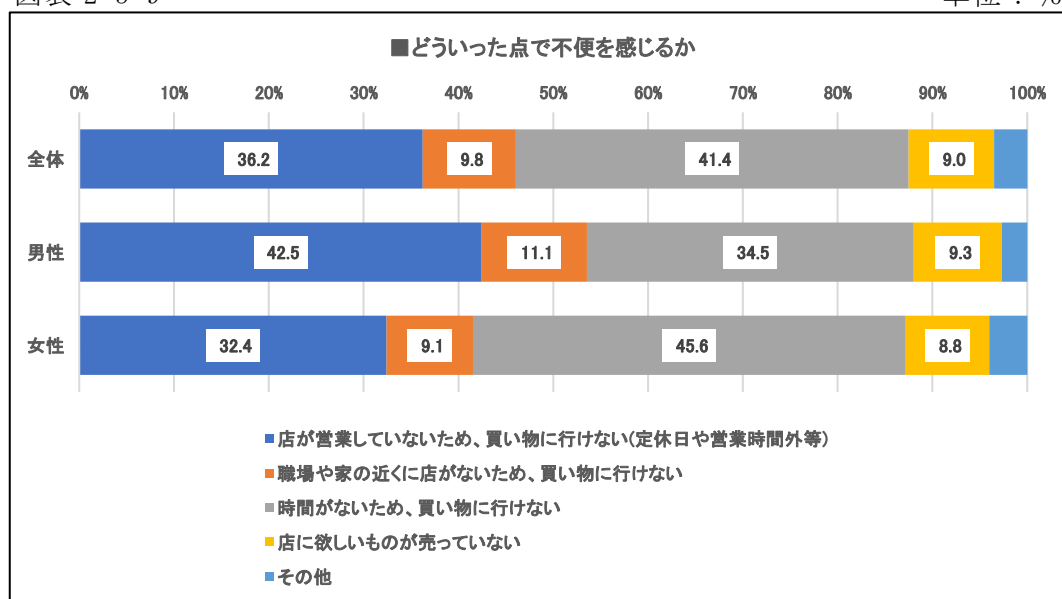
単位：人、%

不便を感じる内容	今回（R3年）調査		前回（H29年）調査	
	回答数	構成比	回答数	構成比
店が営業していないため、買い物に行けない	217	35.7	167	33.2
職場や家の近くに店がないため、買い物に行けない	59	9.7	61	12.1
時間がないため、買い物に行けない	248	40.9	200	39.8
店に欲しいものが売っていない	55	9.1	50	9.9
その他	22	3.6	26	5.2
無回答	6	1.0	-	-
合計	607	100.0	503	100.0

注：前回調査は無回答者数が多いため無回答については計上していない。

図表 2-5-9

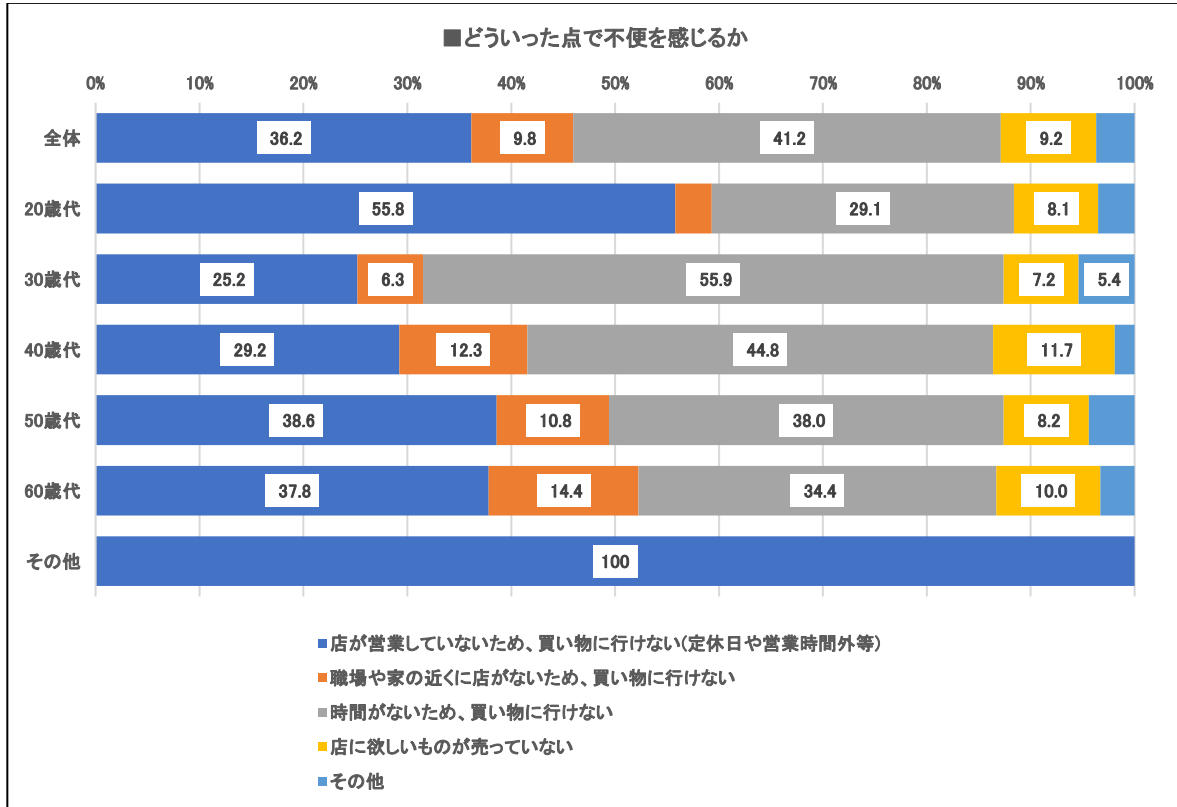
単位：%



注：無回答分は除いている

図表 2-5-10

単位：%



注. 「その他」は不明回答である。また無回答分は除いている

(5) 仕事がある日の夕食はどこでとるか

普段仕事がある日の夕食場所については、「主に自宅で食べる」と回答した人が 90.7%で大半を占め、「主に職場で食べる」(2.7%)、「主に外食する」(2.6%)は少数であった。

前回調査との比較では、「主に自宅で食べる」が前回の 68.7%から 22.0 ポイントと大幅に増加しているが、これは前回調査において無回答者が多かったことと現在のコロナ禍の影響によるものとみられる。

なお、年代別・男女ともに「主に自宅」との回答が大半であったが、その中で若い年代で男性ほど自宅以外で夕食を取るとの回答が多い傾向がみられる。

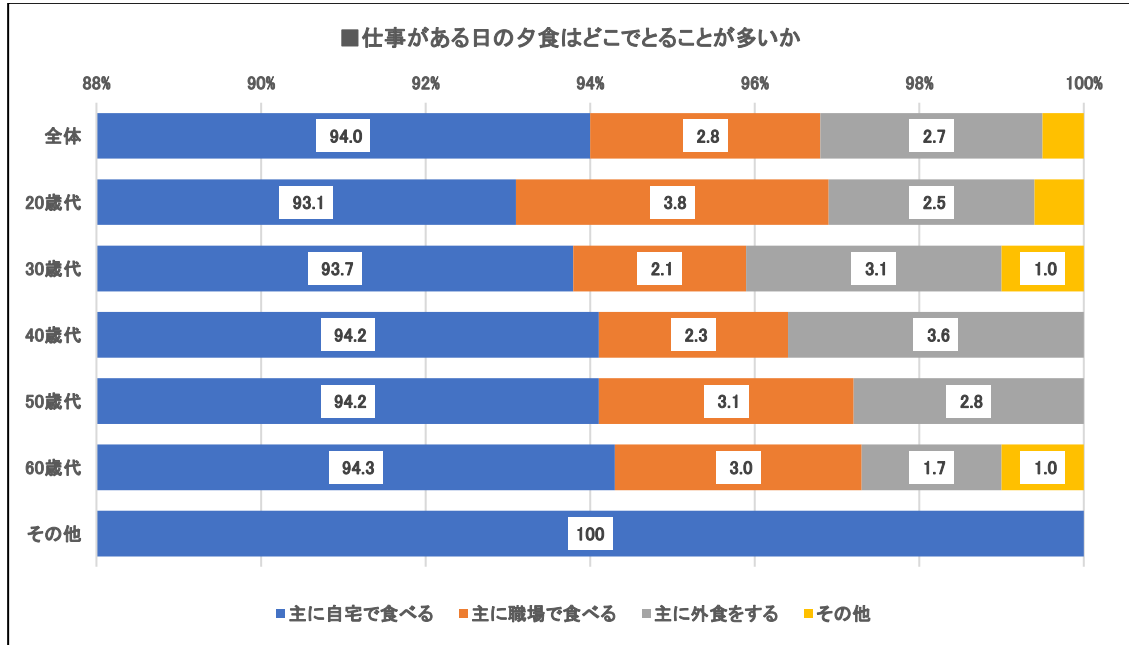
図表 2-5-11

単位：人、%

仕事のある日の夕食場所	今回 (R3 年) 調査		前回 (H29 年) 調査	
	回答数	構成比	回答数	構成比
主に自宅で食べる	1,210	90.7	1,038	68.7
主に職場で食べる	36	2.7	37	2.5
主に外食をする	35	2.6	49	3.2
その他	6	0.4	5	0.3
無回答	47	3.5	381	25.2
合計	1,334	100.0	1,510	100.0

図表 2-5-12

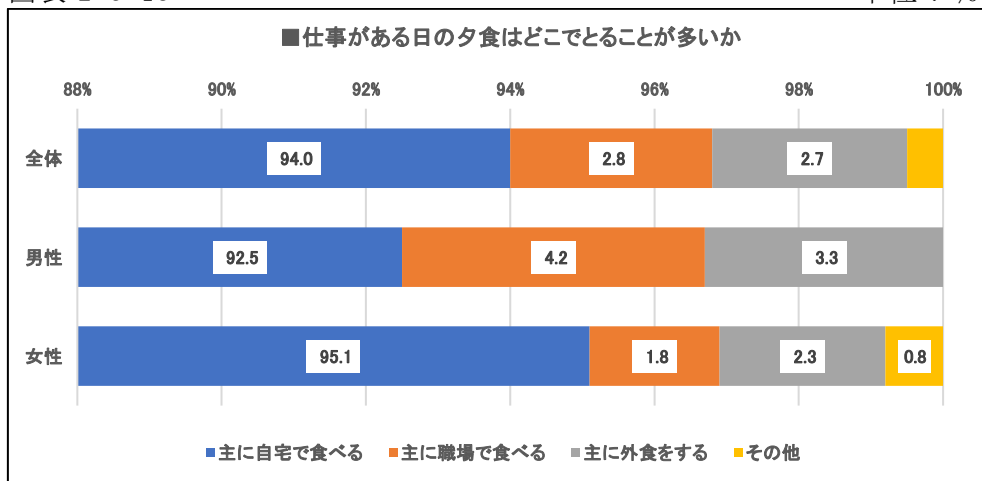
単位：%



注. 「その他」は不明回答である。また無回答分は除いている

図表 2-5-13

単位：%



注. 無回答分は除いている

(6) 週に何回自宅で夕食をするか

働いている人が週に何回くらい自宅で夕食するかの質問に対しては、「毎日」との回答が81.7%と大半を占め、次いで「週に3~4回程度」が16.5%であった。

前回調査との比較では、前回は無回答が多かったため、「毎日」の29.5%をはじめ全般的に増加している。

これを年代別で見ると、20歳代の「週に3~4回程度」が37.2%と40%近くおり、同じく20歳代において「週に1~2回程度」も4.7%の回答があるなど、比較的若い年代で「毎日」以外の回答が20%弱みられた。

男女別では、男性の方が「毎日」以外の回答率は高くなっている。

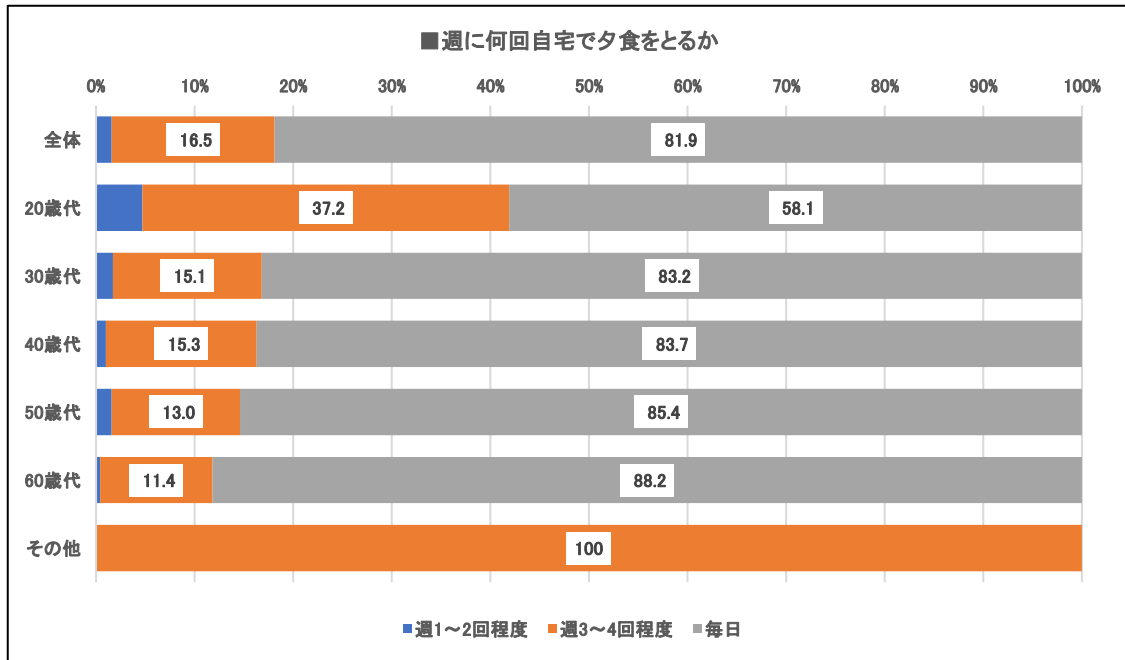
図表 2-5-14

単位：人、%

週に何回自宅で夕食をするか	今回（R3年）調査		前回（H29年）調査	
	回答数	構成比	回答数	構成比
週1～2回程度	19	1.6	15	1.0
週3～4回程度	200	16.5	226	15.0
毎日	989	81.7	788	52.2
無回答	2	0.2	481	31.9
合計	1,210	100.0	1,510	100.0

図表 2-5-15

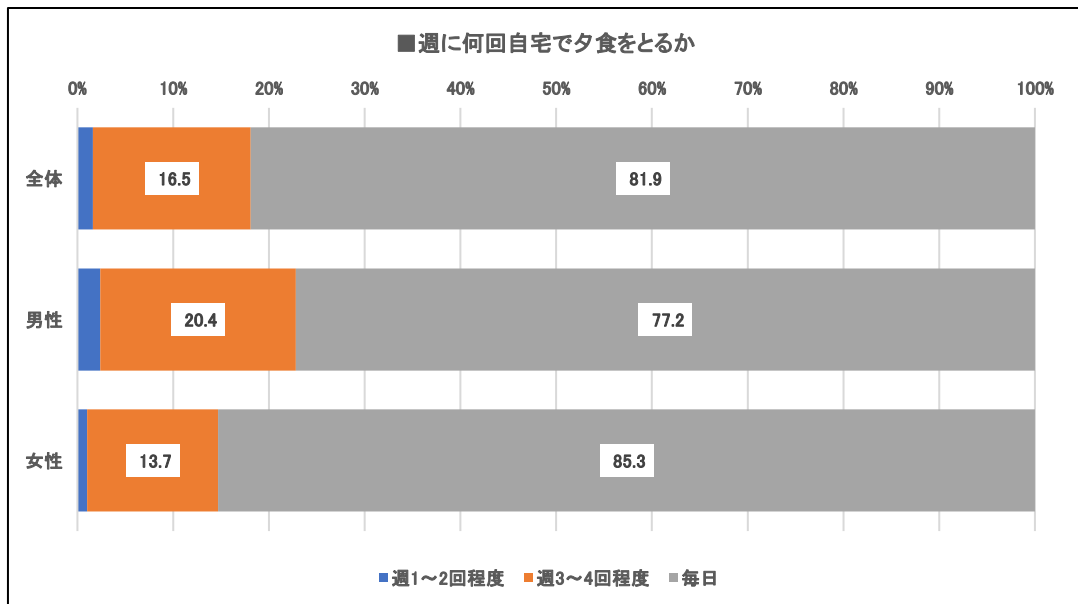
単位：%



注. 「その他」は不明回答である。また無回答分は除いている

図表 2-5-16

単位：%



注. 無回答分は除いている

(7)夕飯の準備については

夕食の準備については、「自分が作る」(54.7%)と「家族等が作る」(51.7%)が50%強を占めて多く、以下「レトルトやインスタント食品を使う」(43.0%)、「スーパーで惣菜や弁当等を購入する」(28.6%)、「コンビニエンスストア等で惣菜や弁当を購入する」(12.8%)などの順であった。

これを前回調査結果と比較すると、「レトルトやインスタント食品を使う」が前回より32.9%と大幅に増加し、その他「自分が作る」(16.6ポイント増)、「家族等が作る」(13.1ポイント増)など全般的に増加している。

年代別では、「家族等が作る」は20歳代、「自分が作る」は30、50歳代においてそれぞれ平均より高く、「レトルトやインスタント食品を使う」は30～40歳代、「百貨店で惣菜や弁当等を購入する」は60歳代が多い回答となった。

また、男女別では男性は「家族等が作る」が多く、女性は「自分で作る」、「レトルトやインスタント食品を使う」、「スーパーで惣菜や弁当等を購入する」などが全体の平均より高くなっている。

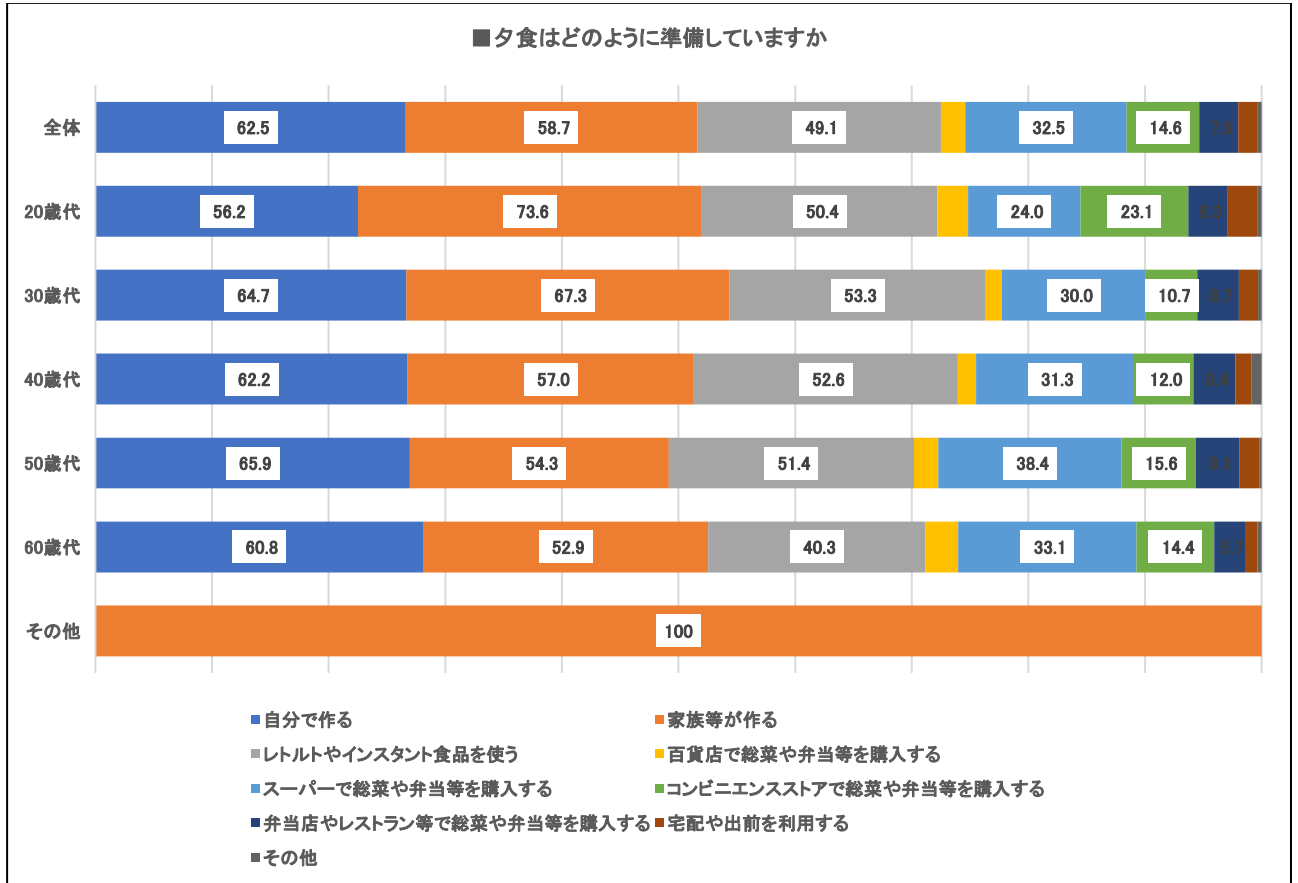
図表 2-5-17

単位：人、%

夕食の準備について（複数回答）	今回（R3年）調査		前回（H29年）調査	
	回答数	構成比	回答数	構成比
自分で作る	662	54.7	575	38.1
家族等が作る	626	51.7	583	38.6
レトルトやインスタント食品を使う	520	43.0	153	10.1
百貨店で惣菜や弁当等を購入する	52	4.3	54	3.6
スーパーで惣菜や弁当等を購入する	346	28.6	325	21.5
コンビニエンスストア等で惣菜や弁当等を購入する	155	12.8	172	11.4
弁当店やレストラン等で惣菜や弁当等を購入する	84	6.9	52	3.4
宅配や出前を利用する	41	3.4	17	1.1
その他	10	0.8	7	0.5
無回答	146	12.1	474	31.4
合 計	1,210	100.0	1,510	100.0

図表 2-5-18

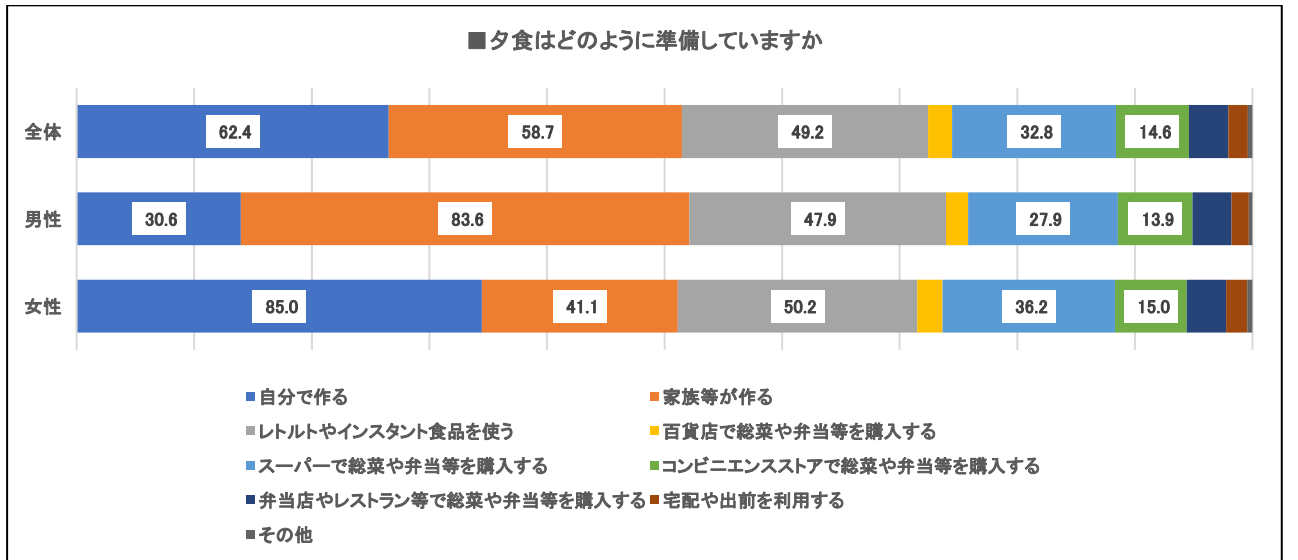
単位：％



注. 「その他」は不明回答である。また無回答分は除いている

図表 2-5-19

単位：％



注. 無回答分は除いている